

Y08a 国際天文学連合・天文普及グローバルプロジェクトへの参加

臼田-佐藤 功美子 (国立天文台/IAU OAO), 富田 晃彦 (和歌山大学), Lina Canas (IAU OAO/国立天文台)

国際天文学連合 (IAU) は 2009 年世界天文年の成功をうけ、天文学をより広く普及させる「IAU10 年戦略」(2010 年-2020 年) をたてた。そして 2011 年南アフリカ天文台に天文学推進室 OAD (Office of Astronomy for Development) を、2012 年日本の国立天文台に国際普及室 OAO (Office for Astronomy Outreach) を設置した。OAD には、大学と天文学研究 (TF1)、子どもと学校教育 (TF2)、一般向け普及活動 (TF3) の 3 つの Task Forces (TFs) があり、富田と Canas は TF2、臼田-佐藤は TF3 のメンバーである。

IAU 等が進めている子ども向けの教材開発プロジェクト Universe Awareness (UNAWAWE) には、富田、Canas ら OAD TF2 メンバーが深く関わっている。UNAWAWE では国立天文台やヨーロッパ南天天文台など、世界の研究機関による発見を、子ども向け宇宙ニュースにした Space Scoop として随時英語で発信し、世界各国のボランティアにより約 40 の言語に訳されている。日本にも和訳チームがあり、日本語の記事が発信されている。2016 年 5 月から 8 月末までは Space Scoop Comic Contest が実施され、和訳チームでも日本の子ども達の参加をよびかけた。

障害者やマイノリティーを考慮した「ユニバーサルデザイン天文」は国内で活発に行われているが、IAU でも 2015 年に Division C Commission C1 にて、Astronomy for Equity and Inclusion ワーキンググループ (WG) が発足した。この WG の天文手話リスト作成については、OAD TF3 のプロジェクトとして承認されている。

本講演では、天文普及グローバルプロジェクトの活動内容を紹介するとともに、日本からの更なる参加についてよびかける予定である。